L-591□胞

300202

L-591□胞株は、ホジキン病、特に結節性硬化型亜型の患者由来のいくつかの腫瘍 □胞株の一つである。この□胞株は、L-428やL-540を含むホジキンリンパ腫 □胞株群の一部として樹立され、この血液悪性腫瘍の理解を深めるのに役立ってきた。 L-591□胞は異数性を特徴とし、様々な構造的および数値的染色体異常を示し、これはその腫瘍性起源を示している。この□胞株は、その明瞭な染色体パターンと試験管内で増殖する能力により研究上特に価値があり、ホジキンリンパ腫の□胞メカニズムを研究するための信頼できるモデルとなっている。

L-591□胞の特徴の一つはその免疫表現型である。この □胞はT□胞に関連するIa様抗原とレセプターを発現するが、骨髄球、単球、マクロファージなどの他の造血系譜に典型的なマーカーを欠く。注目すべきことに、 L-591□胞は表面または□胞質免疫グロブリンを産生せず、 EBNAのようなエプスタイン・バー・ウイルス（EBV）特異的抗原も示さない。この免疫グロブリンとEBV抗原の欠如は、L-591を他のEBV陽性ホジキンリンパ腫□胞株と区別し、EBV感染とは無関係なホジキンリンパ腫病態の特異性を探る上で有用であることを強調している。

L-591□胞株は、ホジキンリンパ腫に特徴的なリード・スタンバーグ（ RS）□胞やホジキン（H）□胞と形態的に類似している。これらの □胞はホジキン病の研究において重要な役割を果たしており、ホジキン病の病態を理解し、潜在的な治療標的を同定するためのモデルとなっている。L-591のユニークな特徴は、実験室での確立された使用と相まって、ホジキンリンパ腫の研究に不可欠なツールとなっており、この複雑な悪性腫瘍を取り巻く知識の蓄積に大きく貢献している。

概要

□明

L-591□胞株は、ホジキン病、特に結節性硬化型亜型の患者由来のいくつかの腫瘍 □胞株の一つである。この□胞株は、L-428やL-540を含むホジキンリンパ腫 □胞株群の一部として樹立され、この血液悪性腫瘍の理解を深めるのに役立ってきた。 L-591□胞は異数性を特徴とし、様々な構造的および数値的染色体異常を示し、これはその腫瘍性起源を示している。この□胞株は、その明瞭な染色体パターンと試験管内で増殖する能力により研究上特に価値があり、ホジキンリンパ腫の□胞メカニズムを研究するための信頼できるモデルとなっている。
L-591□胞の特徴の一つはその免疫表現型である。この □胞はT□胞に関連するIa様抗原とレセプターを発現するが、骨髄球、単球、マクロファージなどの他の造血系譜に典型的なマーカーを欠く。注目すべきことに、 L-591□胞は表面または□胞質免疫グロブリンを産生せず、 EBNAのようなエプスタイン・バー・ウイルス（EBV）特異的抗原も示さない。この免疫グロブリンとEBV抗原の欠如は、L-591を他のEBV陽性ホジキンリンパ腫□胞株と区別し、EBV感染とは無関係なホジキンリンパ腫病態の特異性を探る上で有用であることを強調している。
L-591□胞株は、ホジキンリンパ腫に特徴的なリード・スタンバーグ（ RS）□胞やホジキン（H）□胞と形態的に類似している。これらの □胞はホジキン病の研究において重要な役割を果たしており、ホジキン病の病態を理解し、潜在的な治療標的を同定するためのモデルとなっている。L-591のユニークな特徴は、実験室での確立された使用と相まって、ホジキンリンパ腫の研究に不可欠なツールとなっており、この複雑な悪性腫瘍を取り巻く知識の蓄積に大きく貢献している。

ティッシュ	胸水
病気	ホジキンリンパ腫

同義語

- L 591
- L591

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	2

特徴

形態学	丸い□胞
細胞の種類	リンパ芽球

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

L-591 (Cytion カタログ番号 300202)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1867

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%FBS、1mMピルビン酸ナトリウム、1%NEAAを添加する。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10^5□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10^5～1×10^6□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	3×10^5/ml

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	31年

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB